

『失われた時を求めて1』おもな登場人物

私

本編の語り手、主人公。姓名は記されていない。裕福なブルジョワ家庭に生まれ、幼年時代は休暇を父の故郷コンブレで過ごす。

語り手の父

厳格ではあるが家族に優しい父親。コンブレでは家族との散歩が日課。理論的で控えめな女性。語り手の深い愛情の対象。

アメデ

語り手の祖父。スワンの父親とは、かつて親友だった。

バチルド

語り手の祖母。善良な女性で、文学や美術に造詣が深い。

アドルフ

語り手の大叔父(祖父の弟)。叔父とも呼ばれる。

セリーヌ・フローラ

二人とも語り手の大叔母(祖母の妹)。叔母とも呼ばれる。祖父のいとこ。叔母とも呼ばれる。コンブレの家の持ち主。

レオニ叔母

語り手の大叔母の娘。コンブレの家で寝たきりの生活。

フランソワーズ

レオニ叔母に長年仕える料理人。

シャルルスワン

パリ在住。コンブレ近郊にも家を持つ。ユダヤ人の公認仲買

ヴァントウイユ

人を父に持つブルジョワであり、上流社交界の寵児。

ルグランダン

語り手の大叔母たちの元ピアノ教師。娘を深く愛している。パリとコンブレに家を構えるスノッブなブルジョワ。

ゲルマント公爵夫人

語り手の憧れの存在として意識される。

DIC  
142p

DIC  
212p



kobunsha  
classics

失われた時を求めて1

しおり(裏面)

1

DIC  
142p

DIC  
212p



kobunsha  
classics

失われた時を求めて1

しおり(表面)